

シンフォニー

第 36 号
2017年 5月 May

発行/医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター 編集/広報委員会
〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522 TEL.048-665-6111 FAX.048-665-6112 http://www.shmc.jp

特集

Feature Articles

急性期病院から 在宅を考える

今日日本は世界に類をみない、急激な高齢化社会に直面しています。2025年問題を迎えるにあたり、様々な取り組みが実施されています。地域包括ケアシステムの構築が叫ばれ、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活の支援が一体的に提供されることが望まれています。



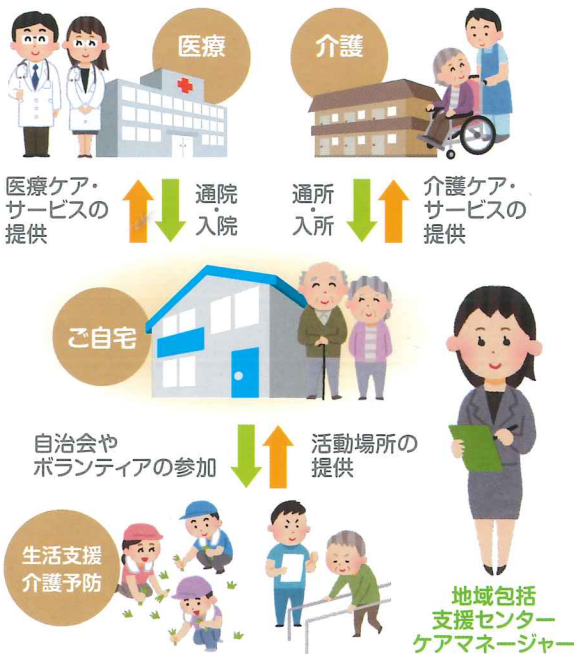
看護部
部長 林 勝枝

病院の役割は、入院して来られる患者さまが1日でも早く回復され、元の日常生活に戻ることが出来るように支援することにあります。当院では入院に関する連携の窓口は地域連携室が担当し、退院の支援を相談室が主に行っています。急性期病院は更に在院日数の短縮化が図られ、急性期を脱した患者さまがスムーズに在宅へと移行できる様に、早くから退院支援を行う為の取り組みが求められてきました。

そのため、当院では、3年前より在宅支援室にベテラン看護師を配置し、患者さまが入院した時点から退院を見据えた取り組みを実施してきました。

更に昨年度より、各病棟から選出した看護師で退院支援部会を設置、月に1回部会を開催し、病院の役割理解や社会資

地域包括ケアシステム



源の活用など、在宅支援の知識を深める取り組みを実施して来ました。まだまだ結果が出るには時間が必要ではありますが、この取り組みにより昨年末には、退院支援ナーズ養成研修の一環として訪問看護師に同行し、在宅の現場を学ぶ機会を得るなど、在宅に興味のある看護師が増えてきています。

「ときどき入院、ほぼ在宅」といわれるように、私たち看護師にとって病院に入院している患者さまが、日常ではない環境にすることを常に忘れず、看護が出来る看護師でありたいと思います。

また、今年の病院目標の1つにバラバラに対応していた連携業務を改善するため、「総合的な連携システムの構築」をあげています。

地域全体で住民の健康を守ることが大切とされる中、自院の役割と多くの医療機関との連携はとても重要な課題と言えます。今後とも連携強化の程宜しく願います。

リウマチ
膠原病科



部長 高木賢治

リウマチ膠原病科

(日本リウマチ学会教育施設、痛風財団認定協力医療機関)



1 当科の特色

当科は2010年4月に新設され主にリウマチ性疾患(関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎/多発性筋炎、混合性結合組織病、シエーグレン症候群、リウマチ性多発筋痛症、血管炎症候群等)及び痛風・高尿酸血症に対して最新の医療を提供することを目標としています。特に関節リウマチに対しては発症早期より生物学的製剤

による積極的な薬物療法を行っております。また、他の膠原病疾患等では、多くの例で現在でもステロイド療法が基本ですが、それに加えて免疫抑制薬や生物学的製剤などを利用した新しい治療法も積極的に取り入れております。なお、当科では関節リウマチおよび膠原病類縁疾患の早期診断・治療効果判定の目的にて関節エコーを導入しています。日本リウマチ学会登録ソノグラファー5名にて検査に当たっております。

作用機序からみた関節リウマチの薬物療法

非ステロイド系抗炎症薬 副腎皮質ステロイド薬	腫れや痛みを和らげ、熱を下げる。
疾患修飾性 抗リウマチ薬	炎症を抑える。免疫を抑える作用もある。一時的な使用に限定される。
免疫抑制薬	異常な免疫機能に作用したり、免疫を抑えることで、病気の活動性を抑える。
生物学的製剤	関節リウマチの原因となる炎症性サイトカインなどの働きを直接抑える注射薬
細胞内伝達阻害剤	関節リウマチの原因となる炎症性サイトカインなどの働きを直接抑える内服薬

2 当科の診療体制

本年4月より新たに非常勤医師2名を迎え日

曜祭日を除く連日外来診療を行うこととなりました。当科ではとりわけ他職種とのチーム医療連携を重視し対応しています。外来では当科外来専任看護師、化学療法室専任看護師、病棟看護師主任(日本リウマチ財団登録リウマチケア看護師)とともに毎月1回事例検討を行っています。また入院病棟では病棟看護師、病棟薬剤師、リハビリテーシヨン科技術員、医療相談室職員と共にカンファランスを毎週1回行いより良い医療を提供できるように心掛けております。

なお近隣の埼玉メディカルセンター、自治医大さいたま医療センター、さいたま赤十字病院、埼玉医大総合医療センターとは良好な関係にあり積極的な医療連携を行っております。

3 メッセージ

最後になりますが、患者さま方に対してお話ししたいと思えます。確かにリウマチ性疾患と診断されご不安になりシヨックだと思えます。私どもになんでも気軽に相談下さい。そうすることによって必ず道は開けます。私たちリウマチ膠原病科職員はあなたのパートナーです。

患者さまの
相談や指導を
一緒にしています



リウマチケア看護師
佐藤 真紀子



よりよい病院をめざして

疾病予防から治療まで、 皆さまの健康をトータルサポート

現在、日本の死因は「がん・心疾患・脳血管疾患・肺炎」の4疾患で全死亡数の約7割を占めています。このような状況の中で、「早期発見・早期治療」は勿論のこと、今後は、「病気になるよういかに予防するか」がとても重要なポイントになっています。

そこで当センターでは、平成27年7月1日のオープンから、新たに最新の医療機器を導入し、高精度な人間ドック（健康診断）を提供させていただいております。



健康管理課
課長 棚澤 和猛

今回は、「PET-CTがん検診」と「脳ドック」について簡単にご説明させていただきます。PET-CTとはPET（陽電子断層撮影法）とCT（コンピュータ断層撮影法）を融合させた画像を同時に得る最先端の検査です。一度の検査（撮影）でほぼ全身を見ることが可能で、薬剤を注射して約1時間安静にした後、30分程横になって撮影するだけです。苦痛の少ない検査でがんやがんの転移・再発の診断にとっても有用な検査となり、すでに県内外の多くの皆さまにご利用をいただいております。



■PET-CT検査

続きまして脳ドックの説明をさせていただきます。皆さまもご存知のとおり、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などの脳血管障害は、主に脳血管の動脈硬化に伴い発症します。当センターでは、最新の3テスラMRIを使用することにより、更に高精度な診断が可能となりました。まだ受診をしたことがない方は、ぜひ一度受診することをお勧めいたします。



■脳ドック

また、PET-CTがん検診と脳ドックは、同一日に受診することが可能ですので、ご興味のある方はぜひお問い合わせいただければと思います。その他にもさいたま市健診（がん検診）、企業健診（定期健診）、協会けんぽの生活習慣病予防健診等、様々な健康診断を各種行っておりますので、ぜひお気軽にご利用いただければと思います。

■ 予防医療センター

※人間ドック・検診の
お問い合わせ・ご予約はこちら

FAX.048-665-6212

(直通)
TEL.048-665-6210

月曜～金曜日 ▶ 午前9:00～午後5:00
土曜日 ▶ 午前9:00～午後1:00（日祝除く）



平成
29年度
新入職員

今年度は総勢72名の新入職員が入職しました。
集合研修を経て、各部署へ配属されています。
どうぞよろしくお願いいたします。



初期研修医 ……8名
薬剤師 ……2名

看護師 ……38名
クランク ……1名

臨床工学技士 ……4名
理学療法士 ……9名

作業療法士 ……6名
事務 ……4名

患者教室のご案内 (ミニセミナー)

5月のスケジュール

外に出るのが気持ち良い、さわやかな季節になりました。
散歩がてらに、参加してみませんか？

18日(木)「痔のくすり」

☆ちょっと人には聞きづらい痔の事。この機会に、勉強しませんか？

23日(火)「糖尿病教室」

～青葉講演会・さくら友の会総会～

6月のスケジュール

梅雨の時期ですね。この時期は、自分の趣味や好きなことに時間を費やし、
ここから元気にしましょう。

15日(木)「光過敏症とくすり」

☆光過敏症、聞きなれないかもしれませんが、意外と多いです。
この光過敏症、何をどう注意する？

21日(水)「食中毒予防」

☆まあ、大丈夫だろう。この油断が危ない「食中毒」
子供や高齢者では、大変な事態になりかねません。

27日(火)「糖尿病教室」

～足ゆらし運動とつま先立ち運動～

数字アラカルト

(平成28年12月～29年3月平均)

入院稼働率 ……95.4%
1日平均入院患者数 ……318.8人
平均在院日数 ……15.6日
1日平均外来患者数 ……641.4人
救急搬送件数 ……585件
手術件数 ……273件
紹介患者数 ……879件

興味のあるセミナーに、
ご自由にご参加ください。

場 所

2F エデュケーションセンター

時 間

13時～

交通案内図



JR
宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン
「土呂駅」東口より 徒歩約11分

東武アーバンパークライン
「大宮公園駅」より 徒歩約9分



自動車
首都高速埼玉新都心線「さいたま見沼」ICより 約18分
東北自動車道「岩槻」ICより 約21分



4月に新卒職員72名が入職し、新たな年度がスタートしました。
仲間が加わることで、新たな環境の変化があると思います。
その中で切磋琢磨して、よりよい病院目指して取組んでいきます。



医療法人社団協友会

彩の国東大宮メディカルセンター

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522
TEL.048-665-6111 FAX.048-665-6112

彩の国東大宮メディカルセンター

検索